ギフチョウの保全活動に取り組みました！

平成２８年度に、海上の森自然環境保全地域において、東部丘陵生態系ネットワーク協議会員を始めとする多様な主体の連携により、ギフチョウの保全活動を実施しましたので、その概要について報告します。

１．目　　的

①「海上の森自然環境保全地域」において、近年激減している「ギフチョウ(希少種)」の生息空間の保全･復元を図る。

②東部丘陵生態系ネットワーク協議会※1員始め地域住民等との協働により、ギフチョウの保全活動を展開することで、里山整備の必要性についての普及啓発と生態系ネットワーク形成の推進を図る。

③本事業を、里山バンキング手法検討のためのモデル林(ギフチョウモデル)に位置付け、整備方針･事業内容･費用等を精査する。

※1:取組テーマ「23 大学が先導する、ギフチョウやトンボの舞うまちづくり」

２．現状と対応（保全・復元）策

【現状：ギフチョウの生息環境の劣化】

森林(里山)の過密化

- ○ 落葉広葉樹による樹冠のうっ閉
- ○ 常緑広葉樹の侵入
- ○ ササ類等下層植生の繁茂

↓

- ○ 飛翔空間の減少
- ○ 産卵場所・食草※2の減少
  - ※2:スズカカンアオイ等カンアオイ類
- ○ 吸蜜植物※3の減少
  - ※3:スミレ・コバノミツバツツジ等

【対応策：ギフチョウの生息環境の保全･復元】

森林(里山)の整備

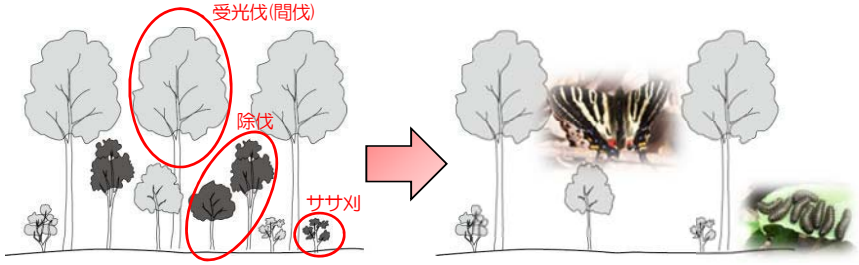
- ○ 落葉広葉樹の受光伐
- ○ 常緑広葉樹等侵入木の除間伐
- ○ ササ類等下層植生のササ刈

・日照条件の改善
・飛翔空間の確保

請負工事と協働により実施

(1)【請負･委託業者】工事･調査
(2)【専門家･ＮＰＯ】技術指導･調査
(3)【協議会員･企業等】協働作業･学習
【行政】調整･手続･情報発信

連携



過密な森林　　健全な森林

【図-1. 森林整備模式図】

【H27 海上の森ギフチョウ保全計画業務】より

３．事業内容・工程

(1) 森林整備工事

請負者：(株)緑公園柴田造園
工　期：平成 28 年6月 27 日から
　　平成 29 年2月 10 日まで
内　容：カンアオイ保育工
- 受光伐：A=1.68ha(670 本)
- 除　伐：A=1.30ha
- ササ刈：A=1.68ha
- 調　査：開空度･カンアオイ生育調査

【図-2. 事業地位置図】

(2)専門家・NPO 指導※4

内　容：希少種等保残木及び伐倒木の選木･技術指導
回　数：２回(着手前･選木完了時)

(3)森林整備協働

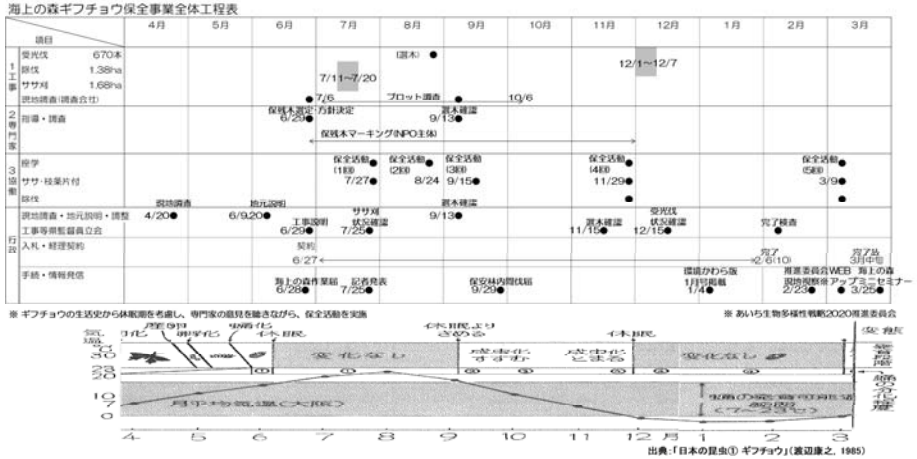
協働者：東部丘陵生態系ネットワーク協議会員ほか※5
内　容：除伐　A=0.38ha
　　ササ・除伐木の整理･片付け･伐採木の搬出
　　ギフチョウ等里山保全学習会
回　数：５回（延べ 196 名参加）

【写真 1. 作業前立会】
↑ (H28. 06. 29)

【写真 2. 保全活動状況】
↓ (H28. 07. 25)

※4:芹沢俊介愛知教育大学名誉教授
　高橋匡司日本鱗翅学会自然保護委員会東海支部長
　増田理子名古屋工業大学教授
　(NPO)海上の森の会

※5: 東部丘陵生態系ネットワーク協議会員(先生･学生等)
　(NPO)海上の森の会始め NPO 団体、他地域の大学生、企業、行政など



４．今後の活動予定

平成２９年度以降も、保全活動にご協力いただける方を募集しています。
ご協力いただける方は、自然環境課 国際連携・生態系グループ(052-954-6229)までご連絡ください。